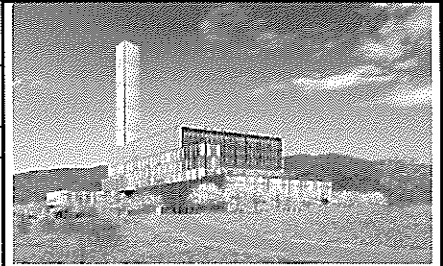


CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業	階数	地下1階、地上5F
建設地	京都府京田辺市田辺ボケ谷18番一	構造	SRC造
用途地域	22条地域指定地域、宅地造成工事	平均居住人員	24人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 竣工	評価の実施日	2023年2月18日
敷地面積	35,549 m ²	作成者	あい設計構
建築面積	4,254 m ²	確認日	2023年2月21日
延床面積	8,640 m ²	確認者	日立造船(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B': ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Qのスコア = 2.9		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7</p>
LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周辺の植生と景観に配慮し積極的に緑化を図っている。運営に見合った事務所機能を最適とする計画を行っている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建築基準法に適合する仕様としている。窓が閉閉可能な居室において、自然換気有効面積が、居室全体の1/20以上としている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>主要設備機器の更新を考慮したルートとし、構造体を痛めることなく更新・修繕ができるような計画としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内の歩行空間等へ風を導き、暑熱環境を緩和するよう空地率に配慮した計画としている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>空調機は高効率機器を採用し、照明はLEDを採用し消費電力削減に努めている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>雨水利用を取り入れ節水に取組み、地球環境に配慮した計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地外の光害を配慮した計画としている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される